

# 呉市手をつなぐ育成会

～11月号～

# 育成会だより

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



2025年(令和7年)11月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823)24-2260

Fax (0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

職業調べ  
(1年)



職場体験新聞づくり  
(2年)



校章



帽子



昭和北中学校

通学カバン



「職業について」



## 呉市立昭和北中学校 SunSun1.2.3組

もくじ

表紙 呉市立昭和北中学校

P.2 「岩木 達先生ありがとうございました」  
中川会長

P.3 呉市しうがい児者連絡協議会 秋の交流会

P.4 ぼくの学級！わたしの学級！  
呉市立広南小学校

P.5 本人活動報告  
「知的障害者相談員研修会に参加して」

P.6 お礼 広告 お知らせ 編集後記

11月の予定



11月 16日(日)

本人勉強会 10:00 (呉つばき会館)

うたう会 13:15 (呉つばき会館)

11月 22日(土)

いくせい太鼓14:00 (呉つばき会館)

11月 30日(日)

広島県知的障害者福祉大会 三原・竹原大会

★次回発行予定は12月1日です。



# 「岩木 達先生ありがとうございました」

会長 中川 潤二

岩木先生のお名前は「達」と書いて「あきら」と読みれます。

年上ですが、同じ仕事に携わっていましたから、存じ上げていたつもりでしたが、先生が病気になられて、初めて病院にお見舞いに行った時のことです。受付で「名前をフルネームで」と言われました。勝手に「達」は「とおる」と思い込んでいました。「そのような方は、おられません」と言われ、いくつか言いましたが、違って教えてもらえませんでした。その日は、お見舞いできませんでした。

先生のことについて、何も分かっていないかっただと反省しました。育成会のHPでは、先生の書かれた記事を見ることができます。「ふれあいコンサートから育成会本人部会うたう会へ」という先生のされてきたことがよく分かる、この会報ページも以前読んでいましたが、今回改めて読ませていただいて、岩木先生の本当の優しさと思いの深さを知りました。もっともっと教えて頂きたかったことがたくさん残っています。

私が、岩木先生の歌声を聞かせて頂いた最後は、暑い夏の盛りの午後でした。お見舞いに伺うと、少ししんどそうに横になっておられました。育成会のうたう会の歌についてなど話しながら、朝ドラの「あんぱん」の話になり、やなせたかしさんといずみたくさんの曲のすばら



しさについて先生が教えてくださいました。「この二人にはこんな曲もあるよ」とおっしゃって、熱があつてしんどいはずなのに、ベッドに起き上がり、うたう会の厚いファイルを取り出して「これも良い。あれも良い。」とめくられて、そのうちの1曲を口ずさみました。ちゃんと背筋を伸ばして、しっかりした声で歌っていただきました。その日、私も体調がすぐれなかったのですが、なぜか元気がでました。勇気がもらいました。きっと本人部会のうたう会の仲間も、こうして先生のどこまでも前向きな姿勢で励まされてきたんだろうなと感じました。

葬儀の際には、仲間たちの感謝の思いとこれからもがんばりますという思いを先生に届けられたと思います。

私は、岩木達先生がアンパンマンに見えています。テーマ曲の中の「なんのために生まれてなにをして 生きるのか こたえられないなんて そんなのはいやだ!」の一節は、先生ならきっと自信をもって答えられるはずです。家族と本人部会のみんなを元気づけるために生まれてこられたのですから。

アンパンマンたいそうの一節です。「もし自信をなくして くじけそうになったら いいことだけいいことだけ 思い出せ… アンパンマンは君さ 元気を出して…君はやさしいヒーローさ」





# 呉市しおがい児者連絡協議会 秋の交流会



## ～オーケアリーナが笑顔と笑い声でいっぱいに！～

令和7年10月3日、「しお支連 秋の交流会」には、市内の事業所の仲間や支援者など200人以上が大集合しました。2年ぶりの再会とあって、あちこちで「久しぶり！」「元気だった？」の声が飛び交い、開場直後からにぎやかなムードに包まれました。

オープニングでは、ハンドベルや合唱、ジャザサイズなど、練習の成果をばっちり披露。拍手や歓声が響き、会場は一気に温まりました。そのあとは名刺交換会に玉入れ、宝探しなど、体も心も動く楽しい企画が続々スタート！ゲームの中で自然と会話が弾み、「初めまして」から「あっ、また会いましょう！」と新しいつながりが生まれていました。

終了後には、日頃、企業や高齢者施設の清掃をしている人たちの有志が「来た時よりもきれいに！」と声を掛け合いアリーナのモップかけをしました。達成感と満足感にあふれた、秋らしくあたたかな交流会となりました。

【呉市しおがい児者支援連絡協議会 会長 小田原 裕紀】



ぼくの学級！  
わたしの学級！

# 広南小学校 ひまわり学級



広南小学校ひまわり学級では、1組・2組合わせて5名が在籍しています。

この日は、呉市で活動している「こども食堂・むすびとみそしる」さんに、おむすび教室を開いていただきました！

教えてもらしながら丁寧に作った後は、みんなで分け合っておいしく食べました。



炊飯器をみんなで、3. 2. 1.  
オープン！



塩のざらざらの感じと、  
あつあつのご飯！



上手に作れたよ  
今度家でも作ってみたい！



すてきなご縁を、ありがとうございました！



# ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



10月18日(土)第2回身障センターまつりがつばき会館でありました。

7階でモルック体験がありました。

その後、2階のお茶席でお抹茶をいただきました。昼食にやきそばを食べました。おいしかったです。

19日の本人部会は、城本さんからはつらつ友の会の報告。白井さんが県はつらつ大会の決議文発表の練習をされました。大きな声で上手にできていました。

その後、選挙の勉強会をしました。みなさん以前から選挙に参加されているようです。

投票会場で困った時には、手帳を見せたら支援してもらえることがわかりました。

期日前投票の話もありました。11月9日に選挙に行こうと思います。  
皆さんのがんばりが伝わってきました。お祭り、カラオケ、家族(ペット)が増えたことなど  
の話がでました。午後のうたう会では、10月の歌、参加された皆さんからのリクエスト曲、ヒューマンフェスタで歌う曲の練習もしました。



## 「知的障害者相談員研修会に参加して」

9月24日に広島市手をつなぐ育成会にて令和7年度知的障害者相談員研修会が開催され、呉市知的障害者相談員の一人として参加させて頂きました。

前半の研修では「コンサルテーションサポート森の入口」代表の金丸博一氏をお招きして「上手な聴き方・人の悩みの適切な聴き方」をテーマにお話を頂きました。経験豊富な先生のお話はどれも参考になるものでした。特に、「どんなに重い障害がある方でも自分の意思を持っているので本人の意思を尊重しながら話を聴き、答えを出すことを焦らず人間関係を築いていくことが大切だ。」というお話は今後の相談員としての心構えの基軸になりました。

後半のグループワークでは、他の市町の行政の方々や相談員の方々と情報交換を行いました。相談支援専門員との役割の違いについて悩まれている相談員の方も多くおられ、金丸氏から「障害児者と気軽に世間話ができ、福祉の枠を超えた出会いを提供できるのは身近にいる相談員なのでは。」とのアドバイスを頂きました。また、相談員の存在を知らない方も多くいるので、どのようにすれば地域の方々に周知していくことができるのかという課題も上げられ、自立支援協議会や民生委員の会議への参加なども視野に入れていくのもよいのではとの意見が出されました。

福祉サービスにつながっていない方もおられる中で、身近な話し相手としての相談員の役割をしっかりと勤めていこうと決意を新たにする研修会となりました。 【呉市知的障害者相談員 海老名美和子】

